

# Future

## 情報 ~iPadの設定- 通知・位置情報-とフリーソフト~

5月に入ってからの情報の授業では、上記3つを取り上げて話をしてきました。

iPadでは初めてアプリと使う際、通知の有無やカメラ・マイクへのアクセス、位置情報、連絡先など、さまざまな許可を求めるメッセージが表示されますが、普段子どもたちはそれを読まず「何か出てきた！先生助けて！」といった様子で聞いてくることが多いです。そのため、今回は「通知と位置情報」について授業をしました。通知は「お知らせ」であることを伝え、「自分にとってどのアプリの通知が必要か」を説明し、設定を見直しました。メッセージなどが届いたら画面に表示させたいか否か、アプリの上にバッジとして数を表示させるか否かなど、それぞれ考えて設定していました。

また位置情報については、地図のアプリだと位置情報によって自分の現在地がわかり、目的地までの道順が分かって便利であることの方、特にカメラアプリで設定がオンになっていると、撮影した写真に位置情報が残り、その写真を共有したり、インターネット上に公開すると、その写真をダウンロードした人が撮影場所を知ってしまうことを説明し、実際に私の京都の家で撮影した写真によって自宅の場所がはっきりと分かることを見せました。

また5/19（木）の30分間の授業では、子どもたちの間に流行っていた「太鼓Web」というインターネット上のゲームを取り上げて話をしました。「太鼓Web」は太鼓の達人そっくりのゲームなのですが、太鼓の達人を制作しているバンダイナムコとは関係ないフリーのソフトです。「なぜ普段ゲームセンターやゲーム機でお金を払ってできるゲームがインターネットで無料でできるのか」について話をしながら、「無料でできるならお金を払わなくなる」ことや、「勝手に作られたものを使うのはどうなのか」などの違法ソフトについて子どもたちと話し合いました。また、こういったものは個人情報の流出やウィルス感染のリスクもあることを伝えました。

情報の授業担当で話し合い、この太鼓Webに関する授業は、各学年の理解度によって伝達事項の違いはありますが、全学年の情報の授業で取り上げました。そこで共通しているのは「『禁止』ではなく『非推奨』と伝える」ことです。太鼓Webを禁止したところで、子どもたちはすぐに違うゲームを探して行きます。重要なのは、フリーソフト等に対する接し方や判断で、そこは時間をかけながら理解していくものです。子どもたちが生活する中で、保護者の方や私たち教員の前でiPadを使っている時間は限られたもので、多くは自分で考えながら判断することが必要です。その判断材料となる知識を情報の授業を中心に身につけていき、デジタルシチズンシップにつなげていきたいと思えます。

## 掃除 ~学校ピカピカ大作戦~

先週より、6時間目終了後の掃除の時間に4年生からそれぞれ4名のグループが体育館とラーニングコモンズの掃除を行なっています。教室に残るメンバーは教室で掃除機、窓閉め・水道・ホワイトボード、カーペットクリーナー、机の雑巾がけを分担しており、全員が4人組に分かれて毎週交代しながら進めています。掃除をすることで教室等がきれいになることも重要ですが、遅くとも15:20に掃除を始めるためには、テキパキと動くことが重要です。6時間目終了後の片付けや、体育の場合

は着替えを素早く行うこと、また15:30には掃除を終え、5分でふりかえりと帰りの用意、最後の5分で帰りの会を行います。みんなで意識を合わせて効率的に動くことを求めています。My Timeや探究など、個人の時間として自ら計画し自分のペースで進めていくことも重要ですが、集団の一員として共通理解を持って行動することも同じくらい大切です。2週目に入りだいぶ流れが掴めてきていますので、今後も最高学年として見本になる姿を見せてほしいと思います。